へ13
4409
5

N13
4809
5

辯說叩沢秀奏之又

同銀武邦

第一不田禄宇

池のうくと対とくゝ多ら物

百殺百中うと屋ものあ服力ゝ的

ふまうゝみ叩対氣れかうき

とくまんうれひうゝがう

第二至士れ怪舊

〈2016-218〉

彼岸橋の花ハ[illegible]
[illegible]
無れかゝるきざんでもなをあるゝみ
のまんなんうぎれむらしがう

第三釋名れ二ツ

歌行の助方ハ儀よりも[illegible]
いろりのゞひと[illegible]
きまんなりうぎう絹ハさ也てれ[illegible]
さうねみとゝ[illegible]

辯說門次第考之又

武神原田ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のことどもおろうてあぐべきこうはいけれどもとかくもいはれぬ
きようとあまたおぼえさせもはべりしかどもあまたはべりしかども
はべりしかどもなにのてをいかでとてとどまりはべりしかども
ぐいはいとうまるりのてるのうちにはあるべきにもあらぬ
まさきをいかでいかでまたいとはべりしかどもはべりしかども
よりまさげいとなんぞとばかりぐしてしかぐしもいかでもの
りくでんをうまるとこのんいとこそきこえはべりしかども
はまるんとしけれどもたいしてうるわ
ほひいろおまるみいまひとはきこえはべりしかどもとうとこそ
おもひはべりしかどもいとうるはしけれどもはべりしかども
ぐ花ぐ俱ーまぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
らくはんとよがぐらいとおもはべりしかどもとてあてはべりと

源義経寅の御代
原田何某射芸の
達人なりしある時
物ふ申く山路ふ
ねらしはるひける
時異人ふ会よて
射術の奥伝
伝授ていとの
ゑへて

まるでうつくしくてうつくしくあるまでもなくうつくしくてうつくしくあるまでもなくうつくしくてうつくしくあるまでもなく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

恒の塩竈の山と旭出西の水逢遊

高嶺の石の沼流
其時携手上君樓

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とびいでてをのれ人をせめんとあるに
こびいるやうにどもたるもあるもあ
付ごとにして三三年も入んどもあ
ものさしにあてゝ
ものくこうらうぎきいたけてあ
ものあんあるもとるまもどあり
ともてぎるあるどもあるきてぐ
さうるのもとにさうるまんさむ
へとまてはそんぜんまんぜうて
たどもあるあるのもどもふど
なりてざていはまもどもあるの
らうはなるまもあんたのもなる

釈迦の一代記

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けものとなりてそのうへにかの家をこぼちくずしてかの
ものどもはいりもとのごとくにはりてあるを
しまうのほりもたるねばしけいはいりばけものを
まねくことにのりてこれのうつくしきねばしけいはいりばけものを
ものどもはいりもとのごとくにはりてあるを
ものどもはいりもとのごとくにはりてあるを
ものどもはいりもとのごとくにはりてある

[illegible]

明和八辛卯正月吉旦

大坂心齊橋南四丁目　吉文字屋市兵衛

書林　江戸日本橋南三丁目　同　治郎兵衛

大坂高麗橋壹丁目　藤屋彌兵衛

一永暦大雜書天文大成

[illegible]

上天文より中人の事下地理に及んでのゝさぐ

若函善惡毎日ゝ方角暦よ未彩さぐ所

事まで委くのゝるる其外一代八卦即定の占

三世相の秘傳男女相性人家日用に入い事い

りゝさぐをとゝめの色色まで世に行いる

雜書とい大ふ稽うて紙負あるくして

大成とゝふものなり